

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.98 2021年10月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

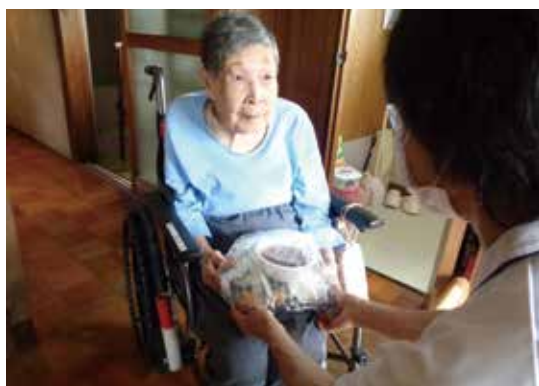
②看護対応：看護師が自宅へ訪問し、利用時に実施している傷の

①食事：栄養科に依頼し、昼食弁当を作ってもらいました。利用予定曜日に希望する利用者の自宅に配達しました。

③リハビリ：外出機会がなくなることで、身体機能の低下が影響されるため、リハ職員が自宅環境下で訓練を実施しました。



訪問して体調や内服の確認



通えない皆様にお弁当を持って訪問

老健あかね 通所リハビリテーション 責任者 山本武範

コロナ禍における老健あかね通所リハビリテーションの新たな挑戦

【コロナの波が当事業所にも】

全世界中にコロナウィルスが蔓延しており、倉敷市内でも感染者の報告が聞かれる日々が続いています。

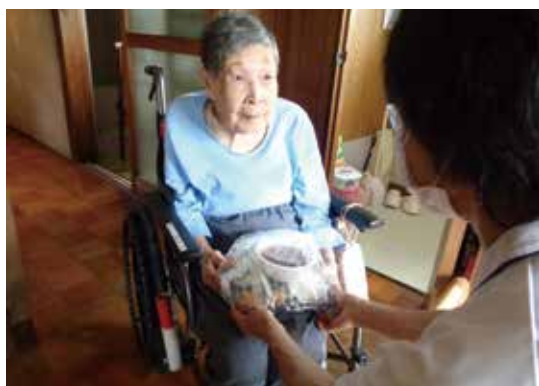
当事業所においても、8月15日に利用者の感染の報告があり、16日より保健所の指導により、事業停止措置となりました。濃厚接触者の該当はなく、PCR検査対象者の結果は全員の陰性が確認され、19日より無事再開となりました。感染者発覚から事業再開までの対応と取り組みを紹介します。

【不安解消のため「こちらから自宅へ」

急な事業停止のため、臨時のヘルパーや訪問看護の介入が難しい利用者がおられました。通所リハへ通うことにより、自宅生活を継続している利用者は、今回の事業停止で大きな不安を抱えていました。



訪問して体調や内服の確認



通えない皆様にお弁当を持って訪問

コロナ禍でこそ回リハの強みを活かして

脳卒中連携を考える会2021(Winter)コロナで

コープリハビリテーション病院 山田小百合

回リハ病棟 師長

2021年8月19日に脳卒中連携を考える会があり、パネリストの一人として参加しました。

目的は川大との連携医療機関として治療方針の共有、コロナ禍における苦労や感染対策の工夫などのディスカッションでした。

私は、後者の内容で発表させていただきました。

昨年からコロナ禍で一番心配したことは、患者様の様子をご家族に見てもらえない事です。様子がわからないまま退院支援ができないうからです。そこで当院の建



パネリストの一人として発表した筆者（左上）
座長は川崎医大脳外の宇野教授（写真下）と
同脳卒中科の八木田教授

直接、患者本人を自宅に連れて行き、ご家族に患者様の生活能力を見てもらいました。そして、そこで分かった問題点や課題を次の自宅リハに活かしていくことで、退院支援は順調に進んだと感じています。

自宅リハビリティを増やしたもつひとつの変化は行き先が「施設」だったのが「自宅」に変わったことです。重介護の患者様でも自宅へ行くことで「帰りたい」と思いリハビリティ意欲に繋がります。ご家族に、こちらから「こうすればもう一度自宅を目指せます」と助言すること、在宅が実現できました。

様々な方法で利用者とのつながりを切らさない事で、少しでも不安を取り除くことが出来たと思っています。

今後も感染症の脅威の中での運営を続けるにあたり、予防策の強化に加えて、感染拡大時でも利用者の生活を守る取り組みを考えていきたいです。

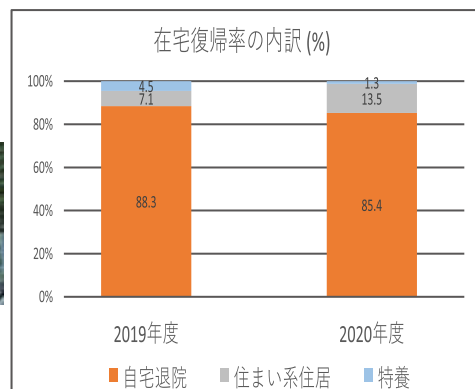
物の構造を活かして「窓越し」での面会やリハビリ見学を行いました。感染拡大の影響により昨年8月には

家は最高じゃ」とこの声を聴くと、とてもうれしく思います。今後私たちが、患者様本人が本当に幸せに暮らせるための提案・支援をおこなっていききたいと思っています。

岡山県ならどこへでも



コープリハビリテーション病院



通えなくてもリハビリは継続

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



日本とインドネシア



機内を想定した移乗練習

技能実習生として来日し、大事故に遭った20代男性のリハビリ報告です。
下肢切断と重度の脳障害にみまわれました。それが座位で食事、車椅子自走、コミュニケーション可能まで回復しました。しかし1人では車椅子に移るこ

ともできず、トイレも分かりません。
家に帰るには友人と飛行機に8時間乗り、帰国後はコロナ禍のため隔離生活、さらに車で8時間の道のりです。
そこで車椅子に移る福祉用具を日本で用意しました。今ある力を最大限発揮し一緒に帰国する友人と飛行機の座席へ移れるように練習を行い、ズボンは前開きに改良し狭いトイレで自分でパットを交換できるように練習しました。
また、母親や隔離施設の介助者に介助方法を伝える為に、作成した資料を翻訳してもらい、

目標を明確にしたメリハリのあるリハビリの提供を目指して

コープリハビリテーション病院 短時間通所リハビリテーション 責任者 岡野泰樹

短時間通所リハの良さは、食事や風呂がなくリハビリのみ、短時間、送迎あり、少数と、利用しやすいところです。
反面、利用希望者が多くて開始までに長く待たせてしまふ。加えて、目標が曖昧で卒業のタイミングを失い、ズルズルと長くなってしまふという傾向にありました。国もその点を問題視しており、目標の明確化や達成度の確認などの具体的な取り組みを行い、目標達成による卒業を勧めるよう新たに方針を出しています。
そこで、利用開始時から利用者と共に目標を決め、期間を定めた中でのリハビリの提供を始めました。
この工夫により目標がはっきりとして卒業に繋がっており、まだ利用できていない

動画も撮影し送りました。私たちは日ごろから患者様の



出国を見送るコープリハのスタッフと



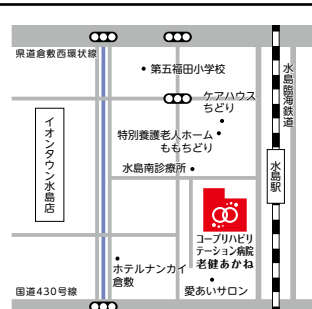
医療生協水島居宅介護支援事業所のケアマネの皆様（筆者右から2人目）

方が利用できる期待しています。普段からお世話になっているケアマネジャーの方にもこの取り組みを紹介し、より多くの方が利用できるような工夫を実践していきます。

暮らし方を考えて在宅支援を行っています。今回、初めて海外へ帰る患者様を担当させていただきましたが、水島であつたとインドネシアであつと、暮らしに戻すという使命は同じだと実感しました。



インドネシア帰国後の実家の様子



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表						
コープリハビリテーション病院					老健あかね	
外来受付時間 8:30～12:00					[086-446-6541]	
[086-444-3212]						
	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健康アップ教室	訪問リハビリ
診療時間	午前 9:00～12:30	14:30～15:00	午後	9:00～16:50	9:30～11:00	9:00～16:00
月				○		○
火	渡辺	○ (予約制)	山崎 (予約制)	○		○
水	飯塚			○		○
木	太田		山崎 (予約制)	○		○
金	小田			○		○
土					○	○

医療福祉相談・連携室		
相談受付時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祝日	休み



コープリハビリテーション病院
事務課
岩田 宏美



コープリハビリテーション病院
5階病棟 ナースエイド
高橋 和子



コープリハビリテーション病院
栄養科 調理員
高原 夕子



老健あかね
通所リハビリ 介護福祉士
中本 美奈子



老健あかね
通所リハビリ 介護士
三宅 順子

新入職員紹介

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。